

# 中北.com

地域教育情報紙

中北教育事務所  
地域教育支援スタッフ

no

# 2

TEL 0551-23-3046

FAX 0551-23-3013

チュウホク ドット コム

中北の地域社会 (COMmunity)の心の交流 (COMmunication)をめざします

## 峡北地区・峡中地区 地域教育推進連絡協議会

### 開催しました

### 第1回 峡北地区 地域教育推進連絡協議会

第1回峡北地区教育推進連絡協議会が、6月28日(木)に北巨摩合同庁舎で開催されました。内容は、各界のあいさつに続き、研修会、協議会、情報・意見交換と行われました。



#### 【あいさつ・松本 恵子 新会長】

協議会において、本年度の役員が次のように決まりました。

- 会長 松本 恵子氏  
(韮崎市教育委員会委員長)
- 副会長 小宮山 英人氏  
(北杜市教育委員会教育長)
- 副会長 功刀 好恵氏  
(韮崎市保育所連合会長)

情報・意見交換会では、次のような活動報告等がありました。

- ◇こすもす教室「教育相談」の紹介  
(石和・韮崎・都留こすもす教室)



- ◇異校種や地域との交流・特別教育セミナー・地域支援部の活動  
(あけぼの支援学校)
- ◇年間行事予定・図書館利用について  
(北杜市中央図書館)
- ◇学校と地域社会の連携・学校応援団・いきいき人材活用  
(中北教育事務所・学校教育スタッフ)

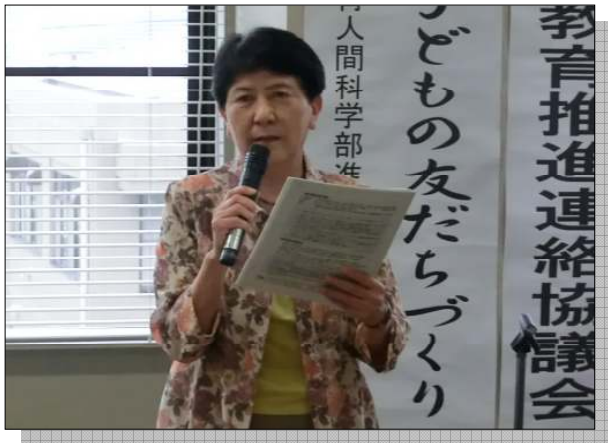
研修会では、山梨大学教育人間科学部准教授・酒井厚先生による講演が行われました。その要旨については次項を御覧ください。

### 峡中地区 地域教育推進連絡協議会

平成24年度峡中地区教育推進連絡協議会が7月5日(木)に北巨摩合同庁舎で開催されました。全体会、研修会、協議会及び、情報交換会、と行われました。

全体会では、本年役員が次のように決定しました。

**会長 横小路 允子氏**  
 (南アルプス市教育委員会教育長)  
**副会長 牛 典久代氏**  
 (甲府市女性団体連絡協議会長)  
**副会長 植 村 武彦氏**  
 (甲府市小中学校PTA連合会長)



**【あいさつ・横小路 允子 新会長】**

情報交換会では、次のような情報や活動の紹介がありました。

- ◆南アルプス市6地区の青少年育成活動状況について  
 (南アルプス市教育委員会・少年育成カウンセラー)
- ◆甲斐市青少年育成の取組みについて  
 (甲斐市教育委員会・少年育成カウンセラー)



- ◆「ドリーム・アドベンチャー」について  
 (甲府青年会議所)
  - ◆「グリーンスクール 2012 in 芦安」について  
 (南アルプス青年会議所)
  - ◆甲府市ボランティアセンターの利用について  
 (甲府社会福祉協議会)
  - ◆「母と女性教職員の会」紹介と取組について  
 (甲府市母と女性教職員の会)
  - ◆「母と女性教職員の会」紹介と取組について  
 (中巨摩母と女性教職員の会)
  - ◆不登校対策事業、研究指定校等について  
 (中北教育事務所・学校教育スタッフ)
- 研修会では、峡北地区と同様に、山梨大学教育人間科学部准教授・酒井厚先生による講演が行われました。

**講演 「大人が支える子どもの友だちづくり」(要旨)**  
**山梨大学教育人間科学部准教授 酒 井 厚 氏**

子どもがどのように社会性を伸ばしていくか、社会で生きていく力をつくっていくのか、ということについて講演が行われました。概要を紹介します。

**◆「ピア・マネージメント(親による子どもの友だちづくり)」が子どもの社会性を育む**

幼児期に「ピア・マネージメント」を行っている家庭の子どもが、そうでない子どもに比べて、小学生に上がった時の友だちや、親しい友だちの有無に差があるという研究結果があります。親しい友だちがいること自体、社会性を育むけではないのですが、その様な親密な関係で営まれる日々のやり取りは、他者との関わり方を学ぶ良い機会となります。

実際、私どもの実施した研究では、親しい友だちがいる子は、いない子に比べて問題行動が低く、向社会的行動が高くなっていました。

つまり、親が幼児期の頃、子どもを外に連れていったり、友だちと遊ぶような場を提供すると子どもたちは、周りの子ども達と関わることに慣れ、

小学校の頃には友だちの人数も増えて、友だちとの関係も親しいものが作れたりするわけです。

このようなことから、社会性を伸ばす要素が育まれて、良い結果になっていくと思われれます。



**【酒 井 厚 山梨大准教授】**

## ◆良い夫婦関係のもとで、子どもの発達 は上手にいく

こうした「ピア・マネージメント」は、親同士の関係性が良いかどうかによって変わってくると考えられます。

夫婦の関係が葛藤に満ちていると、子どもの発達に良くないという結果は、これまでの多くの研究が示してきているところです。

子育てに関して問題となるのは、母親の育児への負担を父親が十分にサポートできない場合が多いです。

是非お父さんには、子育て役割の1つとして、また母親が1人で自由に過ごす時間を作る意味でも、子どもを“遊びに連れていく”ことに積極的になって頂きたいと思います。

## ◆地域の見守りの中で自由に遊ばせる

子どもに友だちをつくる機会をつくってあげるのには、それが巡り巡って子どもの社会性に繋がるといえることです。子どもに友だちをつくらうという企画は、個人的な努力ばかりではなく、地域がやらなくてはいけないというのは随分前から言われています。

現在、文科省や厚労省も「放課後子どもプラン」というものをつくって、放課後、施設等を解放し、子どもたちが“遊ぶ”という施策をとっています。

子どもたちが遊ぶときに、学校の先生が見ているのでは、子どもたちも案外自由に遊べないかもしれないので、子どもたちの様子を見てくれているのは地域の大人になります。それは、お爺さんやお婆さん、また仕事がお休みの大人だったりするわけです。

そういう人たちが見守り、様々な危険がないことが担保された中で、子どもたちは自由に“遊ぶ”ことができるわけです。

“遊ぶ”要素の中で、2つの大きい観点は、1つは大人数で遊ぶこと、もう1つは競争やスリルというものがあることです。

楽しみながらも勝負にこだわって遊ぶことは、負けた時でも「もう1回挑戦しよう」というやる気に繋がると思います。

様々な人が関わる、その関わり方の中で地域の方々にやって貰いたいことは、子どもが“遊ぶ”のを見守るということも大切ですが、子どもに遊び方を教えて上げて、その楽しさを色々な側面から伝えて欲しいということです。それがまた、社会性を育むことに繋がるでしょう。

## お知らせ

### みんなで学ぼう！わいわい子育て・親育ち

山梨県では子育てや親子関係について、親が楽しみながら主体的に学ぶことのできる教材として、ワークシート形式の「やまなし「親」学習プログラム」をつく成し、幼稚園・保育所・小中学校・高等学校・特別支援学校に冊子でお配りしております。各学校の学級懇談や授業、各地域での子育ての催し等で積極的にご活用してください。また、冊子を使った学習会を実施する際には、講師の紹介もしておりますので、担当にご相談ください。

なお、詳しくは下記まで連絡をお願い致します。

#### 連絡先

県社会教育課 成人・家庭教育担当 桐原 ひかる  
電話 055-223-1772(直通)  
FAX 055-223-1775  
E-mail kirihara-atpf@pref.yamanashi.lg.jp

## 第54回全国社会教育研究大会 山梨大会開催のお知らせ

「つどえ 富士の国やまなしへ 語ろう 日本の今 これから」をスローガンに、次の日程で開催されます。地域の絆を深め、地域に活力を生み、地域の教育力を高める手だてをみんなで考えてみませんか。

【期 日】平成24年10月24日(水)  
～26日(金)

【会 場】〈全大会〉甲府市総合市民会館

〈分科会〉甲府市総合市民会館  
かいてらす 山梨県立文学館

【お問い合わせ】

第54回全国社会教育研究大会  
山梨大会実行委員会 事務局  
〒400-8504 甲府市丸の内一丁目6-1  
山梨県教育庁社会教育課内  
TEL 055-223-1770 FAX 055-223-1775  
e-mail: kobayashi-atse@pref.  
yamanashi.lg.jp  
【担当：小林】



# 県立中央高校

# リアル

## 中央高校は生まれ変わります！



- 校舎を一新(平成25年4月オープン)
- 平成25年度入学生から、定時制に午前部(午前中4時間授業)の新設
- それぞれ特色のある午前部・午後部・夜間部の3部制の完全実施



### 午前部(しっかり学ぶ)

- 進路にあわせて科目を選び、しっかり学んで学力を伸ばし、進学を目指す。
- 午後の時間を使って、さらに個性を伸ばす。
  - ◆ 午前8時45分から12時20分まで学習します。
  - 午後部の授業の一部を併修することで、**3年間で卒業**ができ、大学進学を目指す人に向いています。
  - 空いた時間は、自学自習や校外での課外学習等で、受験に向けての準備ができます。



【平成25年3月完成予想図】

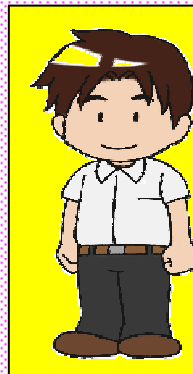
### 午後部(じっくり学ぶ)

- 自分の生活スタイルにあわせてじっくり学び、進学・就職を目指す。
- 余裕のある学校生活の中で、自分の個性や能力を見つけ伸ばす。
  - ◆ 朝が苦手な人に向いていて、午後1時から4時30分まで学習します。夜間部の授業の一部を併修することで、3年間で卒業が可能です。

### 夜間部(ゆっくり学ぶ)

- 小集団の中でゆっくり学び、就職・進学を目指す。
- 昼間は働きながら高校卒業を目指す。
  - ◆ 基礎基本的な内容から、就職・進学のための勉強を行います。午後5時10分の給食から始まり9時15分まで学習します。昼間アルバイトなどをして、働きながら学ぶことができます。午後部の授業の一部を併修することで、3年間で卒業が可能です。

このような生徒  
を求めています！



個性を伸ばしたい

働きながら学びたい

家計を助けながら学びたい

学校生活をやり直したい

苦手な勉強を克服したい

不登校から抜け出したい

心の問題を克服したい

# 平成24年度 山梨ことぶき勸学院・大学院 入学式 ≡ 第1回 中央ふれあい行事 ≡

山梨ことぶき勸学院・大学院は、平成24年4月18日(水)に、甲府市のコラニー文化ホール・大ホールにおいて、入学式を挙行了しました。

中北地区(甲府教室・中北教室)の入学生133名は、多くの来賓のもと、数野強学院長より入学を許可されました。

また、中央ふれあい行事として、身延町西嶋若宮八幡宮宮司・望月久男氏による舞踊「佐渡おけさ」の披露と、山梨日日新聞社論説委員長・向山文人氏の講演会が開催されました。



《中北地区の入学生》



《中北地区の先生方》



《佐渡おけさ・望月久男氏》

## 講演会 「新聞と社会，生涯教育」 山梨日日新聞社 論説委員長 向山文人氏

### 【講演内容】

記者として入社して34年目です。現在は論説委員長として、山日本紙の「論説」と「風林火山」の執筆と監修を中心に行っています。

論説委員は「論説」を担当する専従は3人で、兼務の委員を入れると12人になります。論説は県内外の話題や課題を広く題材とし、県民目線で主張や提言、思いを論理的にまとめるよう努めています。分野は政治・社会・経済・暮らし・教育・文化・スポーツなど、幅広く扱います。



《山梨日日新聞社論説委員長 向山文人氏》

「風林火山」は、論説委員がローテーションを組んで執筆をしています。私自身は担当して、今年で12年目になり、様々な話題を身近に引き寄せながら、人生の哀歓や情を交えて取り上げるよう努めています。

東日本大震災では、2万人近い人達が死亡、または行方不明になりましたが、単に数字だけで捉えるのはできるだけ避けたいと思います。犠牲者や被災者一人一人の命や思いや暮らしを見つめたいと考えています。

昨年10月には被災地(岩手県宮古市・大槌町など)を訪れて、その思いを強くしました。震災から1年を迎えた今年の3月は、「論説」で「震災1年」と銘打って、震災と政治、防災・減災体制、原発・エネルギー施策、食と放射能、被災地支援、報道の責務などを10回に渡ってシリーズで取り上げました。

論説委員は、政治や行政、事件・事故・裁判取材、教育問題、富士北麓などこれまで担当してきた記者活動の集大成のつもりで、仕事をしています。入社時から希望していた文化・スポーツ関係についても、随時取り上げています。

## 稲積神社(正の木祭)奉納 ちびっ子相撲大会

甲府市の稲積神社相撲場において、5月3日(木)に正の木祭りの一環とし、山梨県相撲連盟の共催のもとちびっ子相撲大会が開催されました。

3才児から小学生までの男女合わせて、40名の参加者があり、楽しい対戦が行われました。



## 第8回 国際墨彩画展

国際墨彩画美術協会は、5月13日(日)～5月19日(土)に、山梨県立美術館において、墨彩画展を開催いたしました。

多くの一般観覧者や、中北地区のことぶき勸学園生30数名も参加し、すばらしい墨彩画に魅了されていました。



## 大学生が放課後支援！

〈放課後子ども教室推進事業〉 = 南アルプス市 =

本年度、南アルプス市教育委員会は、県教育委員会の協力のもと、学生ボランティアを要請し、放課後子ども教室を5カ所で開設しました。その中のひとつで、6月27日(水)に「おおケヤキ児童館」(若草地区)において、山梨大学生3名が、長縄2つを使用した「ダブルダッチ」を小学生に指導しました。

子ども達は、2回目ということもあり、慣れたしぐさで楽しんでいました。指導した女学生は、「1・2年生は、『コツ』をすぐ覚え、ドンドンやり上達が速いが、上級生はやる前に考えてしまい、躊躇してしまう」との感想でした。学校・地域・家庭の教育環境の中で、人間同士が繋いでいく力を子どもたちが、しっかり身に付けていって貰いたいと思いました。



【宙に舞う・小学生男子】



【指導した山梨大学生3名】

平成24年度『中北.com』No.2

編集・発行  
中北教育事務所 地域教育推進担当

〒407-0024 韮崎市本町4-2-4  
電話 0551-23-3046  
ファックス 0551-23-3013

『中北.com』は中北教育事務所のホームページでもご覧になれます。  
アドレスは次のとおりです。 <http://www.pref.yamanashi.jp/kyoiku-ch/index.html>